

スキルアップ自己評価シート 集計表

平成31年3月 実施（職員20名）

評価基準	
5	充分に実行している
4	出来るだけ実行している
3	たまたま実行している
2	殆ど実行していない
1	全く実行していない

内 容		1	2	3	4	5
自己啓発	1. 何事に対しても、意欲を持って取り組み率先して行動できる。	0%	0%	20%	75%	5%
	2. 実施した業務に対して、評価が出来る。	0%	0%	32%	63%	5%
	3. 日々の業務の中で疑問に思ったことを問題提起し、解決に向けて努力する事が出来る。	0%	5%	40%	50%	5%
	4. 意欲的な自己目標を明確に設定し、キャリア開発に取り組むことが出来る。	0%	11%	63%	26%	0%
	5. 率先して研修会等に参加し、自分のキャリアアップを図っている。	5%	30%	40%	20%	5%
	6. 参加した研修内容が他の職員に伝達できている。	5%	5%	30%	35%	25%
プロ意識	1. 仕事で失敗しても、次は一生懸命やろうと思う。	0%	0%	10%	40%	50%
	2. 面倒な仕事や困難な仕事でも避けないで責任を持って最後までやり遂げることが出来る。	0%	0%	10%	55%	35%
	3. 分からない事は曖昧にせず、的確に解決できている。	0%	0%	15%	50%	35%
	4. 組織の中で自分の位置や立場を理解し、言われたことだけではなく期待以上に出来る。	0%	6%	39%	56%	0%
	5. 決められたことが行えているかの確認が出来る。	0%	5%	15%	65%	15%
	6. チームの業務の責任を自分の責任として意識できている。	0%	0%	20%	60%	20%
	7. 部下に任せた仕事の確認が出来ている。	0%	0%	42%	53%	5%
判断力	1. 優位性を考えた行動が出来る。	0%	0%	35%	50%	15%
	2. 仕事上で問題が起こった時や緊急時に、適切な処理ができ、速やかに次の行動に移すことが出来る。	0%	0%	25%	60%	15%
	3. トラブル時、的確な状況判断ができ、周囲への協力を依頼できる。	0%	0%	25%	45%	30%
	4. 他部署への協力依頼の必要性を判断できる。	0%	5%	42%	47%	5%
指導力	1. 常に新しい情報に目を向け、専門知識を高め指導的にフィードバックできる。	0%	5%	70%	25%	0%
	2. 後輩等に対し、理解度を把握し指導的に関わられる。	0%	5%	53%	32%	11%
	3. チームの目標を理解し、疑問・悩みを表出できるよう関わられる。	0%	5%	45%	40%	10%
	4. チームの失敗を注意でき、情報提供することで、繰り返すことのないように指導できる。	5%	0%	58%	37%	0%
調整力	1. 柔軟な考えが出来、チーム全体をまとめることが出来る。	0%	15%	30%	55%	0%
	2. 進行状況に応じて率先してチームに声をかけ、時間内に業務を終わらせる事が出来る。	0%	10%	30%	50%	10%
	3. 他部署との調整を率先して、仕事を行うことが出来る。	0%	5%	40%	45%	10%
協調性	1. 自己の感情をコントロールすることが出来、業務に支障をきたさない。	0%	5%	25%	50%	20%
	2. 業務がスムーズに行なえスタッフと協力しながらチーム全体をまとめることが出来る。	0%	5%	15%	65%	15%
	3. 業務の遂行が困難な時、協力を求める事が出来る。	0%	5%	25%	45%	25%
	4. 何事も助け合うという姿勢で業務を遂行できる。	0%	0%	20%	35%	45%

電話対応スキル自己評価シート 集計表

平成31年3月 実施（職員20名）

評価基準	
5	充分に実行している
4	出来るだけ実行している
3	たまに実行している
2	殆ど実行していない
1	全く実行していない

技能	内 容	1	2	3	4	5
受け方	1. ベルは3回以内で電話に出ている	5%	5%	20%	65%	5%
	2. 保育園名・氏名を名乗っている	0%	0%	0%	10%	90%
	3. 最初の感じとして、感じが良い	0%	0%	0%	50%	50%
基本スキル	1. 声の表情は明るい（トーン）	0%	0%	10%	40%	50%
	2. 正しい発音（語尾が伸びないなど）	0%	0%	25%	40%	35%
	3. 正しい言葉遣い、敬語を使用	0%	0%	10%	65%	25%
	4. 相手の話を遮らず、一方的でない	0%	0%	15%	30%	55%
応対能力	1. 会話の中で適切な相槌を使用	0%	0%	15%	35%	50%
	2. 相手のペースで話をしている	0%	0%	10%	45%	45%
	3. 聞くべき事を適切に誘導している	0%	5%	15%	70%	10%
知識能力	1. 正確な情報を明確に回答	0%	0%	25%	55%	20%
	2. 質問には分かりやすく回答	0%	5%	15%	65%	15%
	3. 他者に代わらずに答えられる	0%	10%	40%	35%	15%
処理能力	1. 迅速に対応している	0%	0%	15%	65%	20%
	2. 同じ事を二度言わせない	0%	0%	30%	60%	10%
	3. 業務担当者を明確に把握している	0%	10%	20%	35%	35%
満足度	1. 感謝の気持ちが伝わる対応	0%	0%	20%	55%	25%
	2. 安心できる印象を与えている	0%	0%	10%	65%	25%

食事の提供の評価シート 集計表

平成31年3月 実施（職員20名）

評価基準	
5	充分に実行している
4	出来るだけ実行している
3	たまたま実行している
2	殆ど実行していない
1	全く実行していない

内 容		1	2	3	4	5
1	保育所の理念、目指す子どもの姿に基づいた「食育の計画」を作成しているか	0%	0%	12%	65%	24%
	・保育の理念に基づいた保育課程や指導計画に「食育の計画」が位置付いている。	0%	5%	10%	60%	25%
	・「食育の計画」が全職員間で共有されている。	0%	10%	50%	35%	5%
	・食に関する豊かな体験ができるような「食育の計画」となっている。	0%	5%	25%	50%	20%
	・食育の計画に基づいた食事の提供・食育の実践を行い、その評価改善を行っている。	0%	5%	30%	55%	10%
2	調理員や栄養士の役割が明確になっているか	0%	0%	0%	71%	29%
	・食に関わる人（調理員、栄養士）が、子どもの食事の状況をみている。	0%	0%	19%	33%	48%
	・食に関わる人（調理員、栄養士）が保育内容を理解して、献立作成や食事の提供を行っている。	0%	0%	21%	42%	37%
	・喫食状況、残食（個人と集団）などの評価を踏まえて調理を工夫している。また、それが明確にされている。	0%	0%	22%	56%	22%
3	乳幼児期の発育・発達に応じた食事の提供になっているか	0%	0%	6%	35%	59%
	・年齢や個人差に応じた食事の提供がされている。	0%	0%	5%	55%	40%
	・子どもの発達に応じた食具を使用している。	0%	0%	0%	45%	55%
	・保護者と連携し、発育・発達の段階に応じて離乳を進めている。	0%	0%	11%	53%	37%
	・特別な配慮が必要な子どもの状況に合わせた食事提供がされている。	0%	0%	0%	30%	70%
4	子どもの生活や心身の状況に合わせて食事が提供されているか	0%	0%	0%	65%	35%
	・食事をする場所は衛生的に管理されている。	0%	0%	0%	45%	55%
	・落ち着いて食事のできる環境となっている。	0%	0%	0%	60%	40%
	・子どもの生活リズムや日々の保育の状況に合わせて、柔軟に食事の提供がされている。	0%	0%	5%	50%	45%

	内 容	1	2	3	4	5
5	子どもの食事環境や食事の提供の方法が適切か	0%	0%	6%	47%	47%
	・衛生的な食事の提供が行われている。	0%	0%	0%	35%	65%
	・大人や友達と、一緒に食事を楽しんでいる。	0%	0%	0%	35%	65%
	・食事のスタイルに工夫がなされている（時には外で食べるなど）。	0%	5%	5%	30%	60%
	・温かい物、できたての物など、子どもに最も良い状態で食事が提供されている。	0%	0%	10%	35%	55%
6	保育所の日常生活において、「食」を感じる環境が整っているか	0%	0%	12%	76%	12%
	・食事をつくるプロセス、調理をする人の姿にふれることができる。	0%	5%	35%	40%	20%
	・食事を通して五感が豊かに育つような配慮がされている。	0%	0%	25%	70%	5%
	・身近な大人や友達と「食」を話題にする環境が整っている。	0%	0%	20%	60%	20%
	・食材にふれる活動を取り入れている。	0%	5%	30%	40%	25%
7	食育の活動や行事について、配慮がされているか	0%	0%	6%	76%	18%
	・本物の食材にふれる、学ぶ機会がある。	0%	5%	35%	25%	35%
	・子どもが「食」に関わる活動を取り入れている。	0%	5%	25%	40%	30%
	・食の文化が継承できるような活動を行っている。	0%	5%	35%	35%	25%
	・行事食を通して、季節を感じたり、季節の食材を知ることができる。	0%	0%	5%	40%	55%
8	食を通じた保護者への支援がされているか	0%	12%	24%	47%	18%
	・一人一人の家庭での食事の状況を把握している。	0%	20%	35%	30%	15%
	・乳幼児期の「食」の大切さを保護者に伝えている。	0%	15%	25%	45%	15%
	・保育所で配慮していることを、試食会やサンプルを通して伝え、関心を促している。	5%	10%	25%	45%	15%
	・レシピや調理方法を知らせる等、保護者が家庭でもできるような具体的な情報提供を行っている。	0%	0%	30%	45%	25%
	・保護者の不安を解消したり、相談に対応できる体制が整っている。	0%	11%	22%	44%	22%

	内 容	1	2	3	4	5
9	地域の保護者に対して、食育に関する支援ができているか	7%	27%	53%	13%	0%
	・地域の保護者の不安解消や相談に対応できる体制が整っている。	11%	28%	50%	6%	6%
	・地域の保護者に向けて、「食」への意識が高まるような支援を行っている。	11%	28%	61%	0%	0%
	・地域の子育て支援の関係機関と連携して、情報発信や情報交換、講座の開催、試食会などを行っている。	17%	22%	44%	11%	6%
10	保育所と関係機関との連携がとれているか	0%	15%	38%	23%	23%
	・行政担当者は、保育所の現状、意向を理解している。	12%	29%	18%	29%	12%
	・外部委託、外部搬入を行う際は、行政担当者や関係業者と十分に話し合い、保育所の意向を書類に反映させ、実践している。	12%	35%	6%	29%	18%
	・小学校と連携し、子どもの食育の連続性に配慮している。	6%	35%	0%	47%	12%
	・保育所の「食」の質の向上のために、保健所、医療機関等、地域他機関と連携が図れている。	6%	41%	12%	29%	12%